

# “古代と海への挑戦” 大王のひつぎ実験航海



今から約 1500 年前の古墳時代、現在の宇土市網津町で採れる「馬門石」でつくられた石棺が、中国・近畿地方まで運ばれ、各地の古墳に納められました。その中には、後の天皇家につながる「大王」のものとみられる古墳も含まれます。

歴史的に重要なこの発見について、当時の技術でどのように運んだのか？ どのような人々が関わったのか？ この壮大な古代史の謎に挑んだ実験航海が 2005 年夏に行われた「大王のひつぎ実験航海」です。



馬門石で復元した石棺を曳き出す  
(宇土市網津町馬門地区)



宇土を出航 (宇土マリーナ)



寄港地での歓迎 (今治市大井浜来島)



大海原を進む復元古代船「海王」



鞆の浦港に入る「海王」(広島県福山市)

## 航路と寄港地 (2005 年 7 月 24 日～8 月 26 日)

